

「第 12 回 キセラ川西エコまち協議会」の報告

平成 28 年 3 月 22 日(火)「第 12 回キセラ川西エコまち協議会」を市役所において開催し、当まちづくり協議会からも副会長にご出席いただきました。

議題は、①交通部会の検討状況について ②モニタリングについて ③運用基準の改訂について ④建築賞・ラベリングについて で、②モニタリングについては、エネルギーモニタリング施行実施要領(案)について、来年からの実施が異議なく承認されました。また、③運用基準の改訂についても異議なく承認されました。

なお、次回の協議会開催は 8 月頃を予定しています。

「第 6 回 川西市中央北エコまち協議会 交通部会」を開催しました！

平成 28 年 3 月 22 日(火)「第 6 回交通部会」を市役所において開催しました。

議事は、「交通施策による交通手段転換」と「施策の展開に向けて」について協議をおこないました。

また同日開催された「第 1 2 回キセラ川西エコまち協議会」で「施策の展開に向けて」というダイジェスト版を報告させていただきました。

第 2 回 キセラ川西市民プログラムワークショップ開催の報告

キセラ川西中央公園(仮称)・せせらぎ遊歩道で「ワクワクすること」を「やっちょおう!!」をコンセプトに展開している、市民プログラムワークショップ第 2 回目を 3 月 26 日に開催しました。

今回は、参加者が 29 名集まってくださり、オープンしたばかりのせせらぎ遊歩道南線エントランス部分を抜けて、工事中の現場見学を行いました。現場では、工事担当の方に遊歩道の護岸の話や、今後どこに何ができるかなど、わかりやすく説明していただきました。

現場見学の後は、会議室へ集まり現場を見学して感じたことの共有や、実際に現場をみたからこそ思う「私はこんなことを公園でやってみたい!」という気持ちを共有しました。和気あいあいとした雰囲気の中で、参加者さんどうし、お互いの想いや夢を知り、公園オープン後のイメージ作りが少しずつ具体的になってきました。



パンパと一緒にヘルメットをかぶったよ



大阪府立大学武田先生から参加者さんへのエール



遊歩道の護岸設計についてご説明しました



子どもと思いつき遊びたい
四季ごとの自然観察会をしたい
カフェや軽食イベントを楽しみたい
イベントをしたい
ホテルの鑑賞会
キャンドルアート

親子づれで WS に参加してくれた方もいらっしゃいました

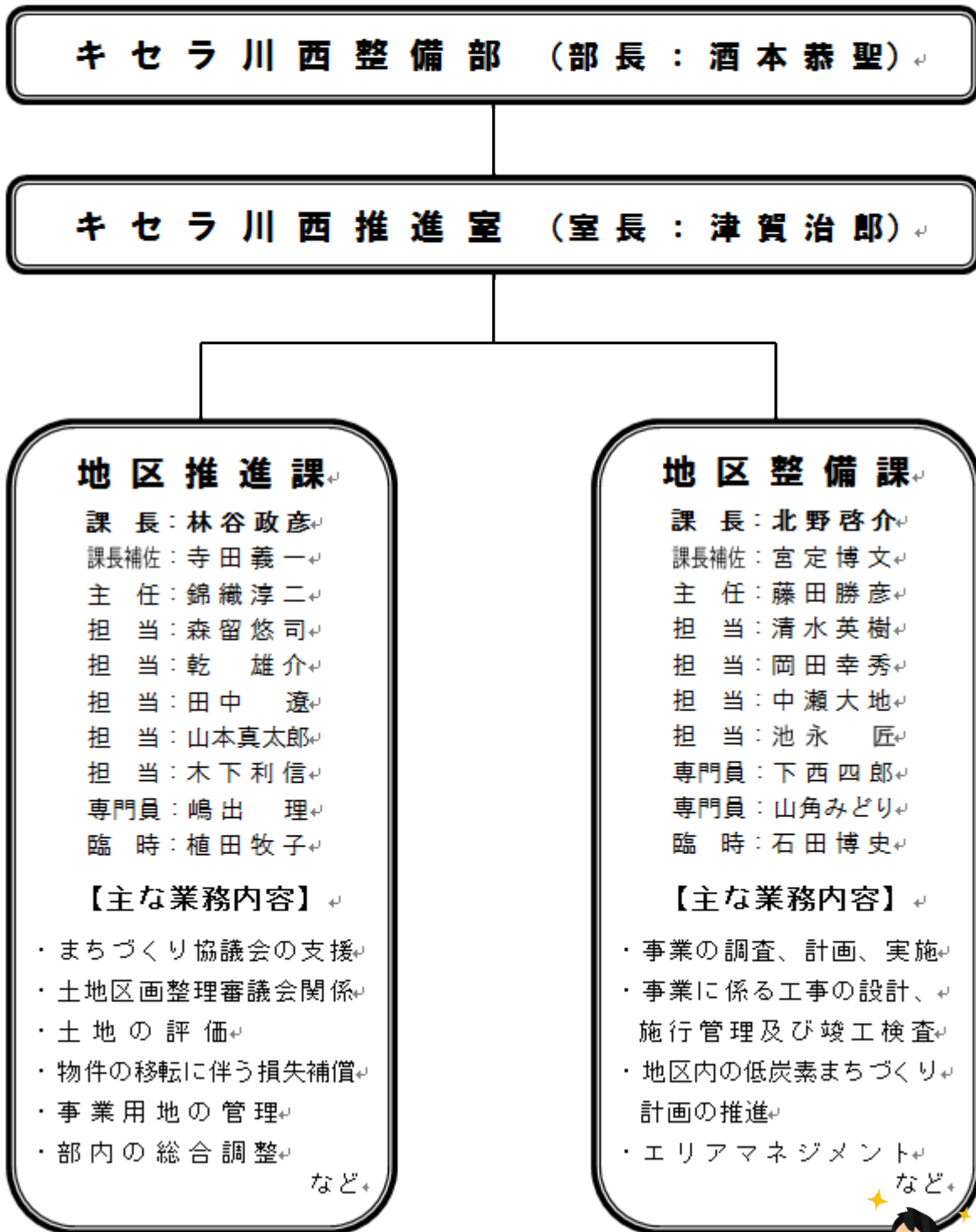
みなさん熱心にそして素敵な笑顔で意見交換をされていました

キセラ川西整備部 平成28年度新体制のお知らせ

4月の人事異動に伴い、下記のような体制となりました。

また、組織につきましては、「地区推進課」「地区調整課」「地区整備課」の3課あったものが、事業の進捗により「地区推進課」と「地区調整課」を統合し、「地区推進課」と「地区整備課」の2課体制となっております。

今後とも事業完了を目指し、職員一丸となって取り組んで参りますので、ご支援ご協力よろしくお願ひいたします。



淡水に棲むエビ・カニのなかま（甲殻類：こうかくるい）

エビやカニのなかまは、昆虫やクモのなかまと同じように節足動物ですが、「甲殻類」といいます。淡水のエビは、テナガエビ、スジエビ、ミナミヌマエビのなかまです。その他よく見られるのは、サワガニ、モクズガニ、アメリカザリガニ、ミジンコなどで多くは水生ですが、ワラジムシやダンゴムシのなかまも陸生の甲殻類です。



テナガエビ

テナガエビ（テナガエビ科）体長約10cm

テナガエビ科のなかまは、先がハサミの長い第2胸脚を持っています。特にこのエビの雄は、写真のように非常に長いです。

肉食性で気も荒いので、水槽で複数飼ったり、他の生き物と一緒に飼うのは困難です。

現在、キセラ水路では見られませんが、猪名川本流の水ぎわの草の間などで見られます。



スジエビ

スジエビ（テナガエビ科）体長約5cm

体の透明度が高く、少し長いハサミの第2胸脚を持っています。脚がとれたテナガエビや若いテナガエビとの区別は困難ですが、はっきりしたすじ模様などから区別ができます。ヌマエビのなかまとはハサミ脚の長さで区別できます。



ミナミヌマエビ

ミナミヌマエビ（ヌマエビ科）体長約3cm

ヌマエビ類は、いくつかの種類に分類されますが、判別にはルーペを使用するなど注意がいらいます。第1第2胸脚の4本のハサミ脚は短く、水草の表面のコケや水垢などを食べるためにハサミ脚の先がブラシのようになっています。体色が大きく変化するので、さまざまな色や透明に近いものも見つかります。

このエビのなかまは外来種（シナヌマエビのなかまなど）が増えつつあります。釣り餌やペットショップなどで表示されている名前は『商品名』ですので、間違いもあり混乱を招いています。



サワガニ



ヨコエビ

サワガニ（甲幅約3cm）と、ヨコエビ（体長約1cm）は、「きれいな水」の指標となる生物です。



アメリカザリガニ



ミズムシ

アメリカザリガニ（体長約10cm）は「大変きたない水」、ミズムシ（体長約1cm）は、「きたない水」の指標生物です。



モクズガニ

モクズガニ（甲幅約8cm）大きなハサミに毛が生えています。海からかなりの距離と高さを登って広い範囲に生息します。成長して卵を産むために再び河口に降ります。

ホタル復活プロジェクト「水生生物観察会 vol.2」を開催しました

「ホタルの光の舞を、キセラにながれるせせらぎ遊歩道で楽しみたい」という思いで活動している『ホタル復活プロジェクト』。その第4回目を4月16日(土)に実施し、小学生を含む8名の方が参加されました。

この日はまず、オープンしたせせらぎ遊歩道南線を通り、工事中の公園・遊歩道の現場見学を行いました。現場では施工会社の担当者より、せせらぎ遊歩道の護岸は、植物やホタルをはじめとして水生生物などが生息しやすい設計になっていることを詳しく説明しました。

その後、工事中の仮設水路で水生生物の観察会を実施しました。11月に初めて行った観察会の場所とそれほど遠く離れていませんが、以前とは異なった生物を観察できたことに、みなさん驚かれながらとてもイキイキした表情で見つかった生物を注意深く観察されていました。

最後に、現場見学の感想をお話いただいたり、観察会で感じた疑問にお答えしたりした後、今後どんな活動をしていきたいかお話いただきました。「ホタルを愛でられるまで5~10年かかるかもしれない」と先生がおっしゃっていましたので、息切れしないよう活動をつづけましょう、ということを共有しました。



みなさん真剣な表情でメモを取られていました



仮設水路は深い水路なので、胴付長靴と長いタモ網を使って水生生物観察会を行いました



観察会の後、感想と意見の共有を行いました



※4月より計画検討委員会の開催日が、原則偶数月の第1火曜日(2か月に1回)に変更となりました。次回第119回の開催は、平成28年6月7日(火)17:30~で場所は、本庁7階大会議室控室で開催します。

第22回 まちづくり協議会 町名変更検討部会の開催お知らせ

日時：平成28年5月9日(月)18:00~ 場所：市役所北隣 保健センター2階会議室

建築物の建築などを行う場合、土地区画整理法第76条許可申請・地区計画の届出が必要です。

また、「中央北まちづくり指針」や「低炭素まちづくり計画」等に基づいた建築計画であるかを確認するため、事前に「建築行為等の手続条例」に基づく協議が必要です。(詳しくは、地区整備課 072-740-1207へ)

権利者が死亡され名義変更されていない方や、権利の移動があった場合、住所氏名の変更があった場合はご連絡を。

上記の申告等や「阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業」について質問などがございましたらご連絡ください。

川西市 キセラ川西整備部 キセラ川西推進室 地区推進課

TEL: 072-740-1203 FAX: 072-740-1330

日時: 午前9時~午後5時半 (ただし、土曜・日曜・祝日は除きます)

HP: <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/machi/cyuoukitaseibi/index.html>